

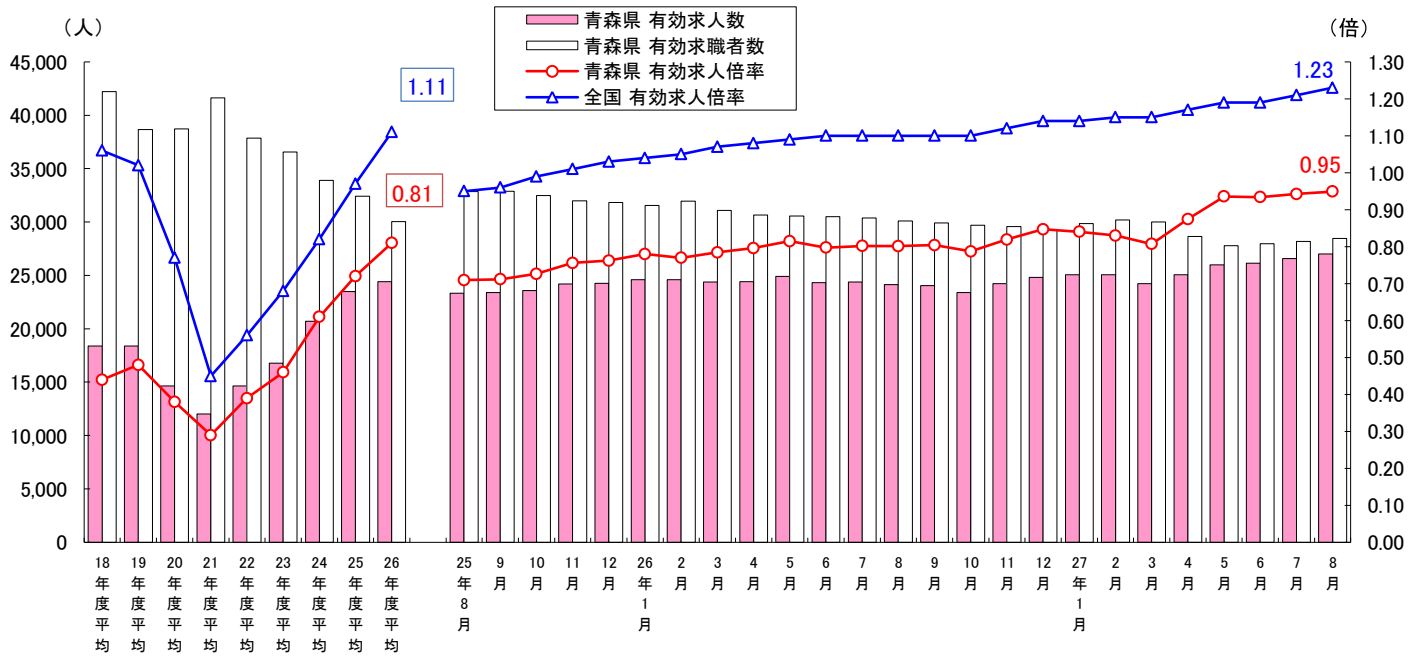
最近の雇用情勢について

(平成27年8月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

8月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ1.7%増加の27,020人、有効求職者数(同)は1.0%増加の28,470人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント増加の0.95倍となった。

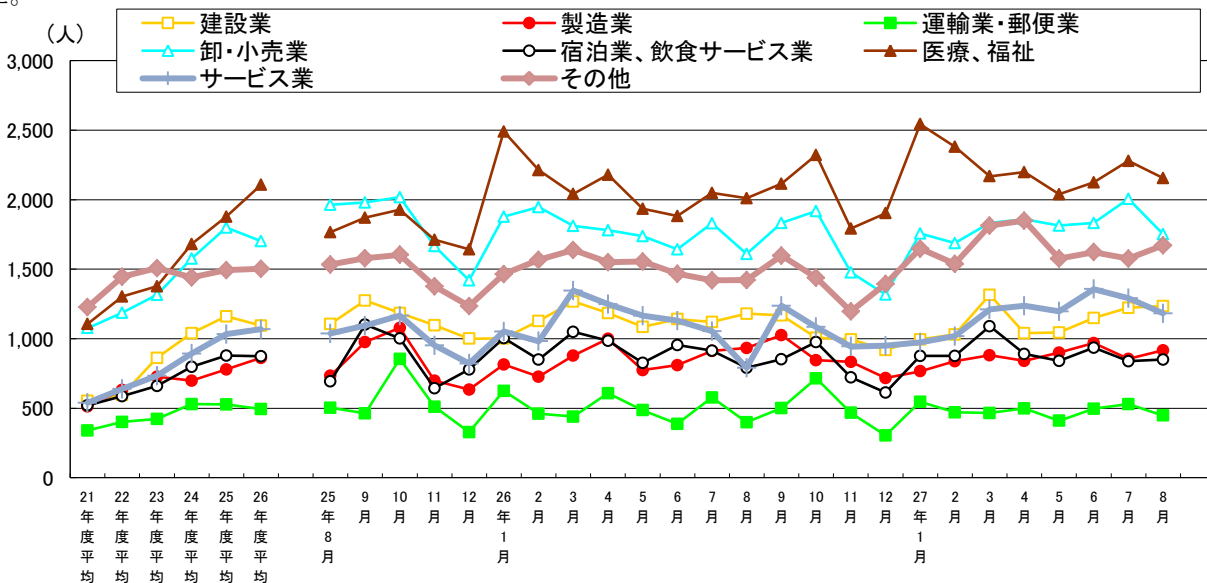


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

8月の新規求人(原数値)は前年同月比11.7%(1,073人)増加、前月比3.7%(391人)減少の10,211人。

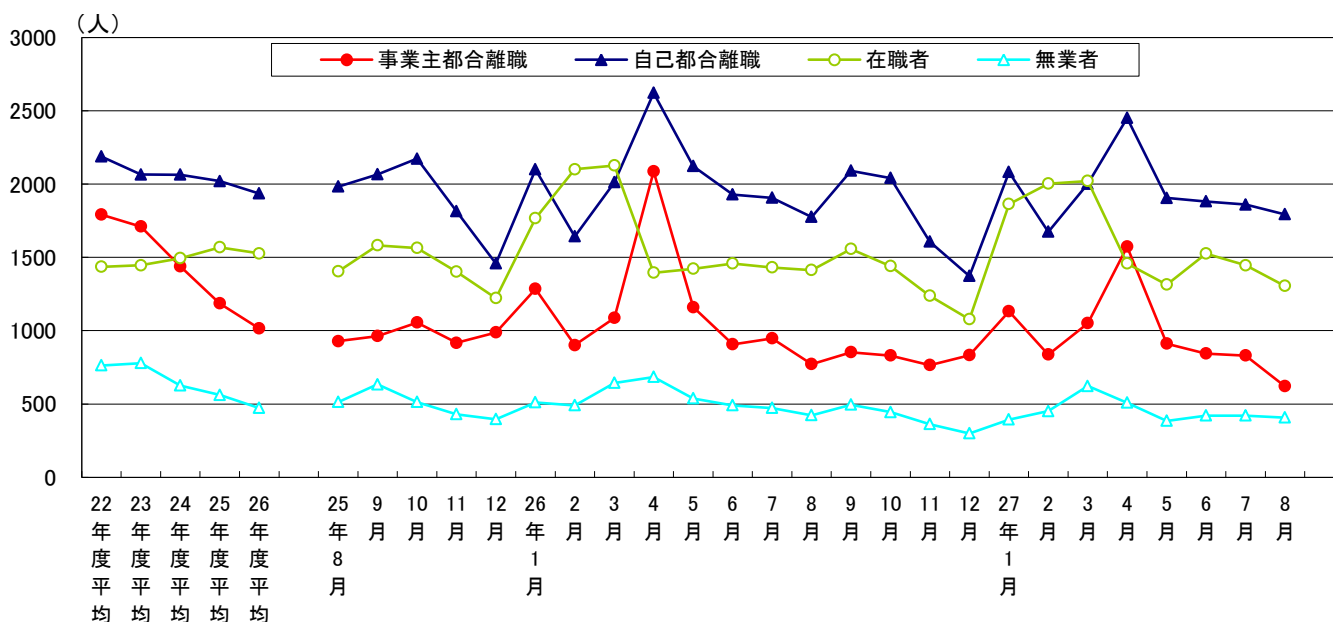
産業別に前年同月と比較すると、建設業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、製造業では減少となった。製造業では、繊維工業、印刷・同関連業、窯業・土石製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、木材・木製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、業務用機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

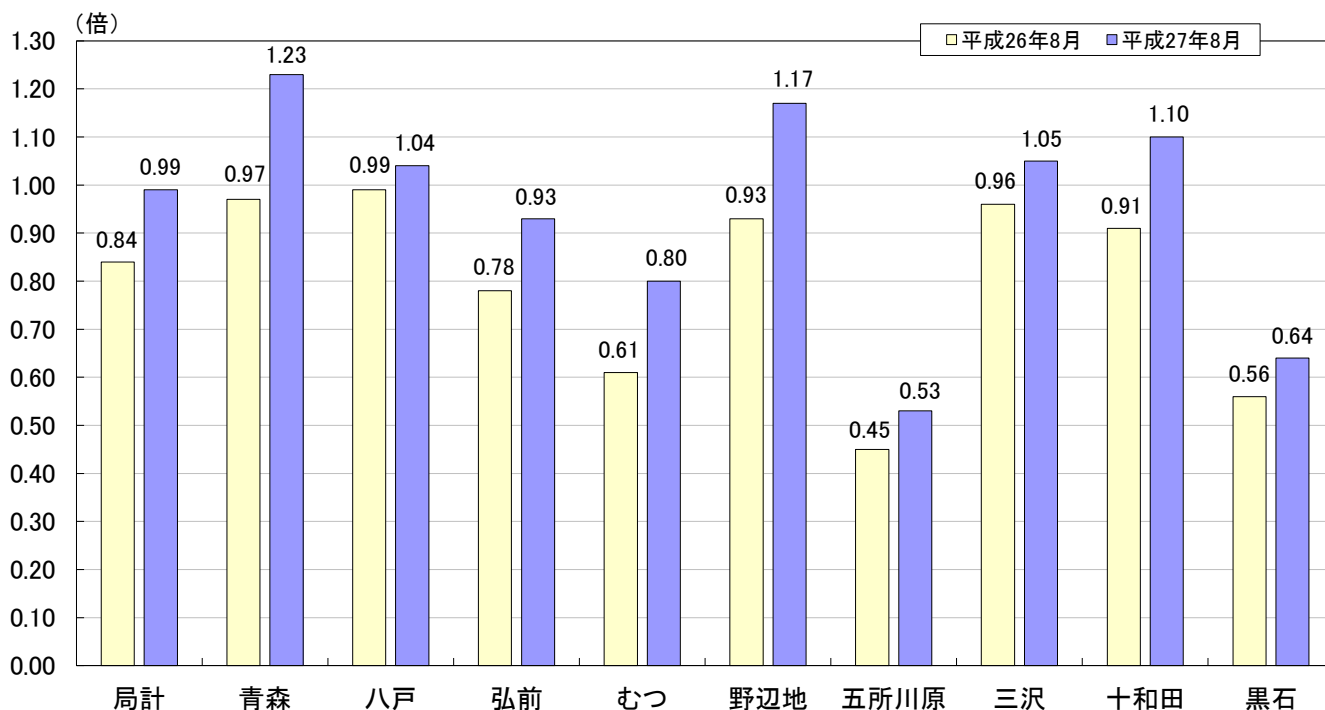
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

8月の新規求職者数は、前年同月比4.5% (299人)減少、前月比13.2% (964人) 減少の6,350人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は7.6% (107人)減少し、離職者は5.0% (131人)の減少、無業者は、3.8% (16人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は19.5% (150人)の減少、自己都合は1.1% (19人)の増加となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

8月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.99倍となり、前年同月を0.15ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

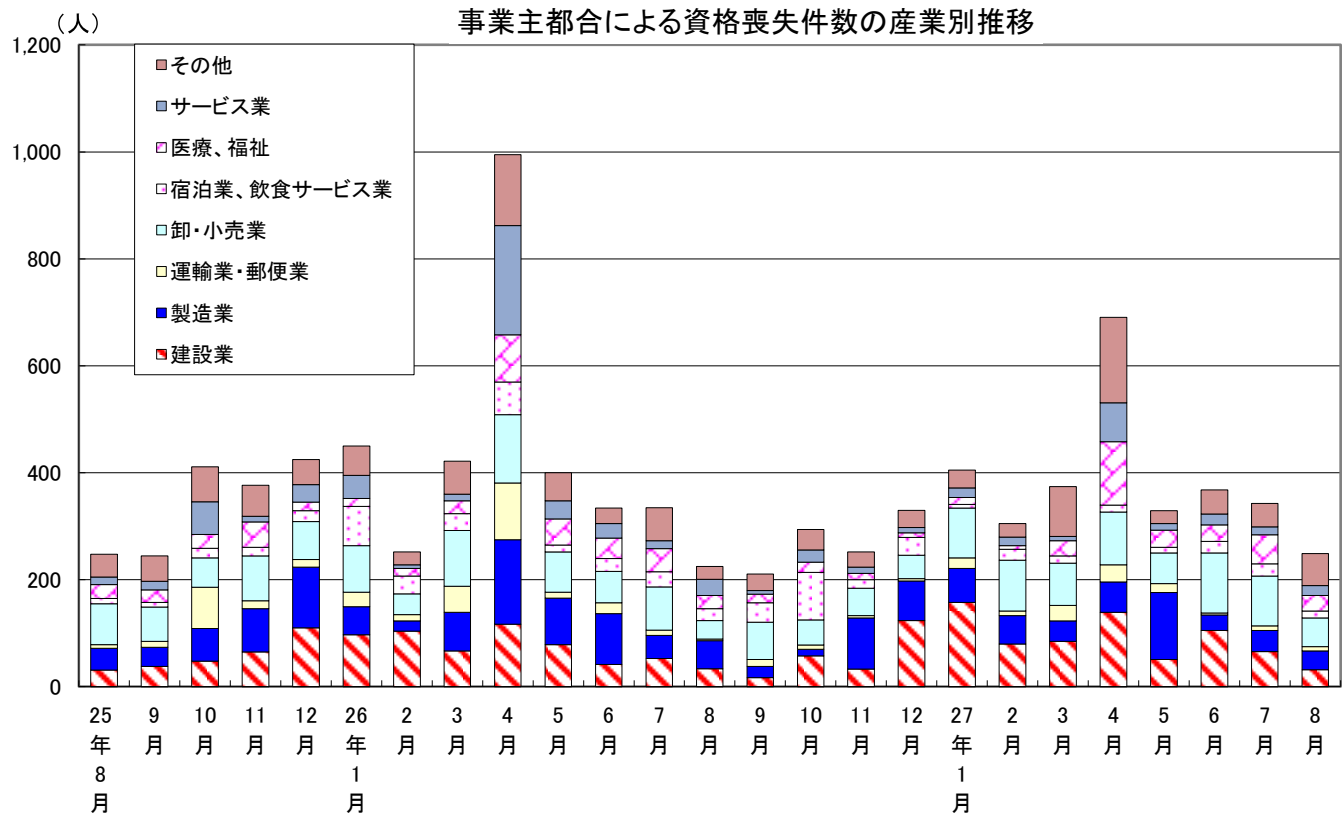
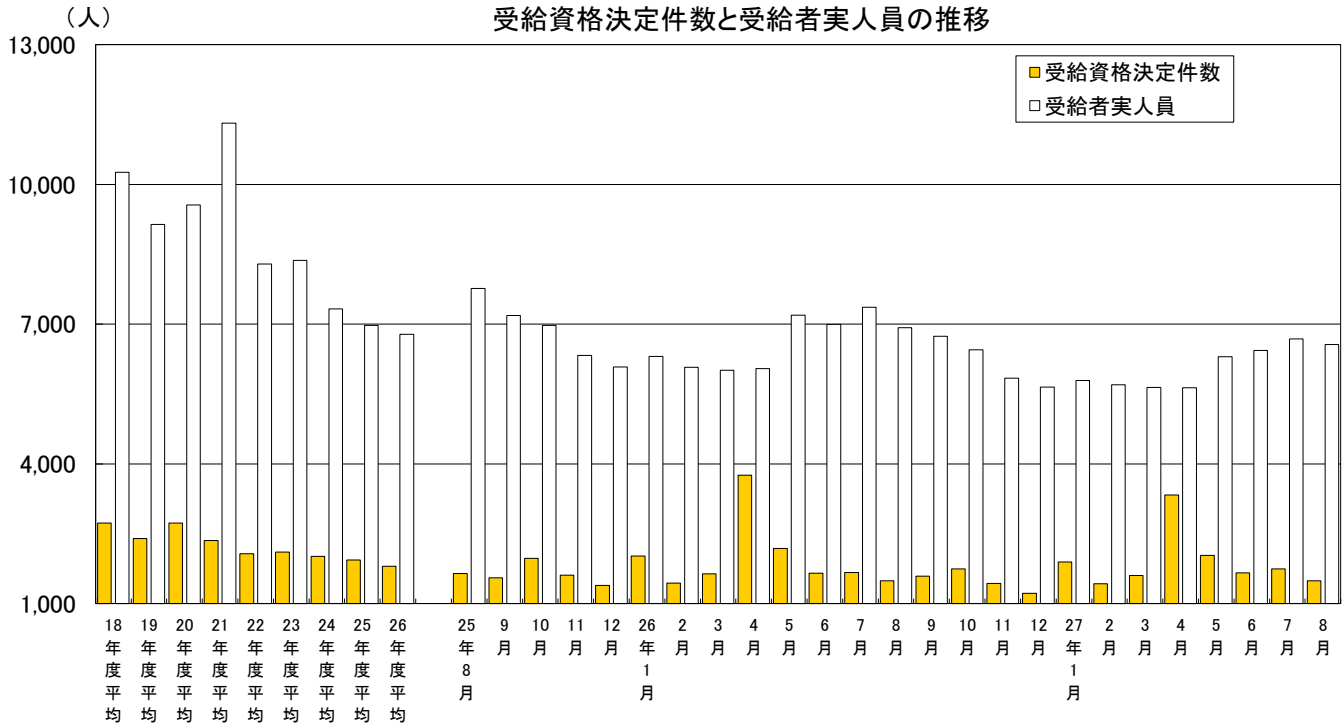


| | 局計 | 青森 | 八戸 | 弘前 | むつ | 野辺地 | 五所川原 | 三沢 | 十和田 | 黒石 |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-------|-------|
| 有効求職者数 | 26,830 | 6,579 | 6,156 | 5,219 | 1,216 | 796 | 2,575 | 1,458 | 1,217 | 1,614 |
| 有効求人数 | 26,531 | 8,120 | 6,388 | 4,867 | 972 | 931 | 1,356 | 1,533 | 1,337 | 1,027 |

V 雇用保険の状況

8月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比5.2%（360人）減少、前月比では1.8%（121人）減少の6,564人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比0.3%（5件）増加、前月比では14.5%（253件）減少の1,494件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比10.7%（24人）増加、前月比27.4%（94人）減少の249人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。